

# 令和2年度 渋谷タブレットの日

渋谷区教育委員会事務局  
教育振興部

# 新しい『渋谷区モデル』へ

渋谷区では平成29年9月からICT教育推進事業として『渋谷区モデル』を構築し、運用を開始しました。

区内公立小・中学校に在籍する児童・生徒に一人一台のタブレット端末を配布し、LTE回線を用いて『いつでも、どこでも、学べる』学習環境を提供しています。

この『渋谷区モデル』を令和2年9月に全面的に再構築し、より質の高い学習環境を提供します。



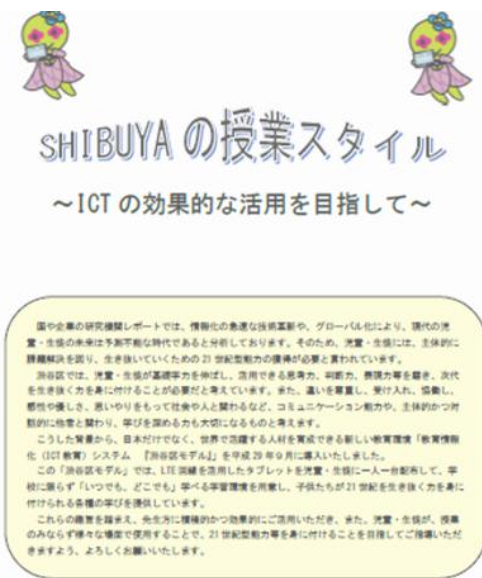
# 渋谷タブレットの日 令和元年11月8日

区立小・中学校全 26 校が公開授業を行い、上原中学校を会場に研究発表会を実施しました。参加者は、都内 23 区 18 市町村、1 府 18 県、77 の自治体から 1,700 人を超えました。各学校では「渋谷タブレットの日」開催を通して、子供たちが同時に考えを共有するなど一人一台のタブレット端末環境でなければできない授業などを公開し、授業研究が進みました。



# ICT教育の推進

タブレット端末を導入して3年目を迎える渋谷区の実践・研究内容を広く全国に発信し、授業等での更なる活用の充実や推進を図ることができました。



**SHIBUYAの授業スタイル**  
～ICTの効果的な活用を目指して～

国や企業の研究開発レポートでは、情報化の急速な技術革新や、グローバル化により、現代の児童・生徒の未来は予測不能な時代であると分析しております。そのために、児童・生徒には、主体的に課題解決を図り、生き抜いていくための21世紀型能力の獲得が必要と責われています。

渋谷区では、児童・生徒が基礎学力を伸ばし、活用できる思考力、判断力、表現力を磨き、次代を生き抜く力を身に付けることが必要だと考えられています。また、道徳を重んじ、実行力、協調性、感性を磨き、思いやりをもって社会や人と関わるなど、コミュニケーション能力や、主体的かつ対外的に他者と関わり、学びを深めることも大切になると考えます。

こうした背景から、日本だけでなく、世界で活躍する人材を育成できる新しい教育環境「教育情報化（ICT教育）システム『渋谷区モデル』」を平成29年9月に導入いたしました。

この「渋谷区モデル」では、1人1台端末を活用したタブレットを児童・生徒に一人一台配布して、学校に限らず「いつでも、どこでも」学べる学習環境を構築し、子供たちが21世紀を生き抜く力を身に付けられる各種の学びを提供しています。

これらの施策を踏まえ、先立って積極的かつ効果的にご活用いただき、また、児童・生徒が、標準のみならず様々な場面で使用することで、21世紀型能力を身に付けることを目指してご提供いたします。

**授業スタイルの例**

小学校では1単位時間（10分）、中学校では15分をタブレット端末使用の目安とします。

**<導入>**

- 教師がプロジェクタに本時の目標・めあてを提示したり、児童・生徒がWord等に目標・めあてを入力したりする。
- 資料を提示したり、動画を視聴したりすることで、学習内容に対する興味・関心を高める。

**<展開>**

- インターネットを活用して、学習課題・問題に必要な情報を収集する。
- 収集した情報や動画・画像、コラボノートを活用して、対象とする事象を比較したり、関連付けたりする。
- Wordやコラボノートを活用して、収集した情報や考えた事柄を整理し、まとめる。
- PowerPointやコラボノートを活用して、学習内容について発表したり、意見交換したりする。
- ※ 1単元～1年度は、タブレット端末等を活用した発表等の場を設定しましょう。

**<まとめ>**

- スタディオアプリのチェックリストを活用し、学習内容の理解度を確認する。
- この時間でやったこと、疑問に思ったこと、気づいたことなどを、事前に教師が作成したWord等の文章に入力し、学習内容をまとめる。
- ※ 1時間の中で1時間、1日の中で1時間など、文字入力させる機会を設定することで、タイピング力の育成を図りましょう。

**<その他>**

- スタディオアプリの前期配信システム等を活用し、家庭学習の習慣付けや学力の定着を図る。
- 高校入試対策等に取り組ませることで、入試に向けた独自の効果を図る。
- ※ 事前学習の機会を確保することで、授業の内容を深めることができます。
- ※ 土・日の宿題としてチェックリスト等を定期的に活用するなどして、活用する頻度を高めていきます。

～発達段階に応じたICTを適切に活用する能力（例）～

NO.	項 目	1年	2年	3年	4年	5年	6年	併
<b>A: 基本操作編</b>								
1	システムを立ち上げる（電源操作・再起動）	○	+	+	+	+	+	+
2	キーボードの基本操作を行う（リターン・スペース・デリート等）	○	+	+	+	+	+	+
3	マウスの基本操作を行う（クリック・ダブルクリック）	○	+	+	+	+	+	+
4	マウスでドラッグ&ドロップやコピー&ペーストをする	○	+	+	+	+	+	+
5	タッチパネルが使える	○	+	+	+	+	+	+
<b>B: 文字入力編</b>								
1	キーボードからアルファベットや数字の入力ができる	○	+	+	+	+	+	+
2	キーボードからひらがなで簡単な単語を入力することができる	○	+	+	+	+	+	+
3	タッチペン入力ができる	○	+	+	+	+	+	+
4	ローマ字入力ができる	○	+	+	+	+	+	+
<b>C: フォルダ管理編</b>								
1	名前付けで保存することができる				○	+	+	+
2	「先立から行う」からダウンロードすることができる				○	+	+	+
3	「先立から行う」等にアップロードすることができる				○	+	+	+
4	マイクメモリにフォルダを作成することができる				○	+	+	+
<b>D: カメラ機能（写真・動画）</b>								
1	写真を撮影することができる				○	+	+	+
2	撮影した写真を拡大や縮小、トリミングをすることができる				○	+	+	+
3	動画を撮影することができる				○	+	+	+
4	撮影した動画の簡単な編集ができる				○	+	+	+
<b>E: インターネット検索編</b>								
1	インターネットに接続し、閲覧することができる				○	+	+	+
2	キーワードで検索することができる				○	+	+	+
3	「お気に入り」に登録したり、削除したりすることができる				○	+	+	+
<b>F: アプリケーションソフト（Word [W]・Excel [E]・Power Point [P]）編</b>								
1	[W] 文字の大きさや色などをカスタマイズすることができる				○	+	+	+
2	[W] 表の文字（行）数、列などのレイアウトができる				○	+	+	+
3	[W] 図や写真、グラフなどを挿入することができる				○	+	+	+
4	[E] 表からグラフを作成することができる				○	+	+	+
5	[P] 簡単な図解（図・表など）を作成することができる				○	+	+	+
6	[P] プレゼンテーションを作成することができる				○	+	+	+
7	[P] プレゼンテーションに簡単な動きを取り込むことができる				○	+	+	+
8	[P] プレゼンテーションにアニメーションを取り込むことができる				○	+	+	+
<b>G: コラボノート編</b>								
1	1人1人に見る自分の名前をつけて閲覧をすることができる	○	+	+	+	+	+	+
2	タブレットを利用して授業中に入力した内容・記録ノートを閲覧できる	○	+	+	+	+	+	+
3	「閲覧専用」を指定して閲覧を許可することができる	○	+	+	+	+	+	+
4	書き込みしたセルを使用して閲覧を許可することができる	○	+	+	+	+	+	+
5	タブレットを使用して閲覧を許可することができる	○	+	+	+	+	+	+
6	「閲覧専用」を指定して閲覧を許可することができる	○	+	+	+	+	+	+
<b>H: プログラム編</b>								
1	手順書を見た、簡単な命令を使ったプログラムができる	○	+	+	+	+	+	+
2	資料を読み出しの指定の条件等を持ったプログラムができる				○	+	+	+
3	複数種類の読み出しの条件等を持ったプログラムができる				○	+	+	+
4	画像を使用し、自ら考えた条件で指定したプログラムができる				○	+	+	+
<b>I: その他</b>								
1	マイクやウェブカメラを使用し、録音・録画ができる	○	+	+	+	+	+	+
2	書籍や写真を見てタブレットを使用することができる	○	+	+	+	+	+	+

（参考資料：「平成29年度 代々木山小中学校」「平成30年度 広尾小学校」研究発表会 資料より）

## SHIBUYAの授業スタイルの例

# 小学校・中学校での取組例



# 令和2年度渋谷タブレットの日について

対象：渋谷区立小学校・中学校

日時：令和2年10月13日から令和3年3月12日までの期間  
の中で、学校ごとに設定しています。

内容：『渋谷区モデル』を活用したハイブリッド化した学習等

※ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、授業公開については制限をさせていただいております。実施計画や実施報告については、各校のホームページを通じて行わせていただきます。

# 未来の学校へ

子供たちの未来の学びを  
保証していきます。

